

寺田 守 議員

シニアクラブ

活性化への支援は

問 老人クラブは、4月よりシニアクラブと名称変更されるが、活性化に向けた市の取り組みはどうか。

答 役員の負担軽減を図るとともに、市の広報や高齢者が集まる事業などでPRしていきたい。また、入会者と非入会者が交流する企画について、今後意見交換していきたい。

子育て支援の施策は十分か

問 保育園の待機児童は解消されたか。また、放課後児童クラブの受入態勢はどうか。

答 本年度当初の待機児童は18人で、次年度当初はさらに減少する見込みである。放課後児童クラブの入所児童数は増加傾向にあるが、受入態勢は整っていると考えている。



盛り上がりを見せるクラウンメロンマラソン

クラウンメロンマラソン への対応は

問 来年は第25回記念大会となり、走行コースの認可や盛り上げに一層の協力を求めたいが、市の対応はどうか。

答 警察及び関係機関とのコースの協議や、市民への周知に最大限支援していきたい。花火と並ぶ本市のビッグイベントとなるよう、市を挙げて取り組んでいきたい。

高橋 美博 議員

定員適正化計画による

正規職員削減は問題

問 平成17年度から22年度までの削減目標と実績は。また、その理由はどうか。

答 平成17年度から22年度までの6年間で、一般職員の削減目標51人に対し、23人の減員で目標は達成できなかった。その理由は、県からの権限委譲や関係機関への職員派遣、計画策定後に発生した事務事業などである。

正規職員の削減が

市民サービスの低下に

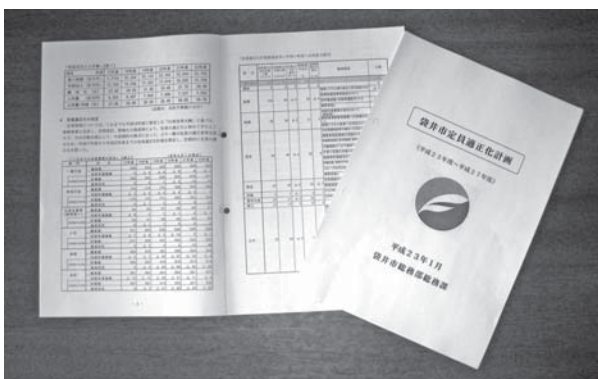
問 ヘテラン職員の大量退職による経験の引き継ぎ、嘱託職員増による正規職員の負担増、新規採用抑制による年齢構成の歪みなど問題がないか。

答 組織機構の見直しを行い、適切な人員配置をしている。

技術職員は特別に 枠を設けて採用すべき

問 土木・建築の技術職員が不足し、業務に支障が出ている。特別に枠を設けて採用し、計画的な養成を行うべきでは。

答 採用にあたり、業務量の把握はもとより、年齢層のバランスも考慮している。対象年齢の拡大や経験者を対象とした採用の検討など、継続的、計画的な採用に努めたい。



職員削減の基となる定員適正化計画